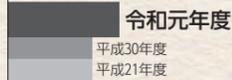
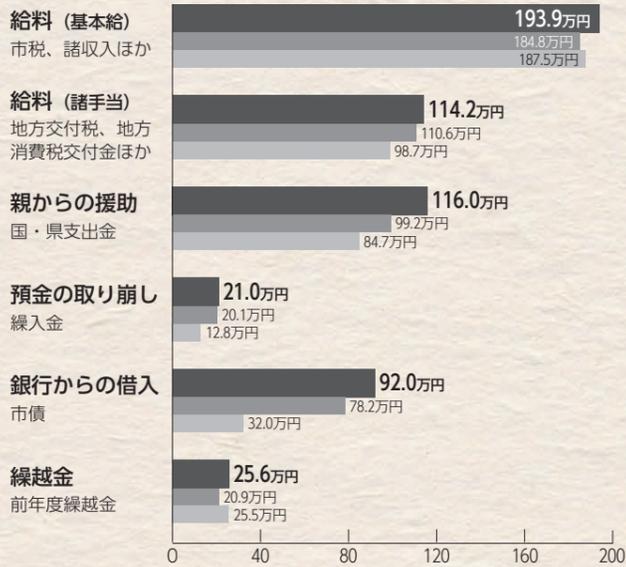


西条さん家の家計簿

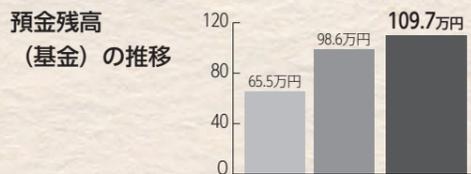
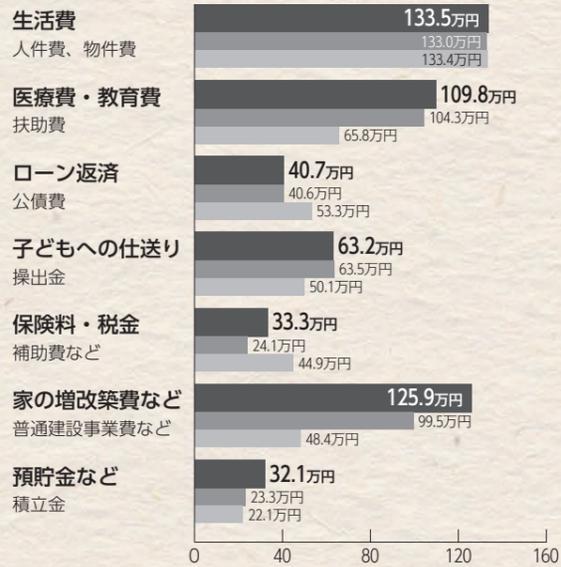
令和元年度の決算と市債・基金残高の一般会計分を1万分の1にして家計簿に例え、平成30年度・平成21年度と比較してみました。



収入 R1 562.7万円
H30...513.8万円 H21...441.2万円



支出 R1 538.5万円
H30...488.3万円 H21...418.0万円



※収入合計562.7万円から支出合計538.5万円を差し引いた金額24.2万円は翌年度の家計に持ち越します。

10年前 (H21) との比較で家計簿を読み解く

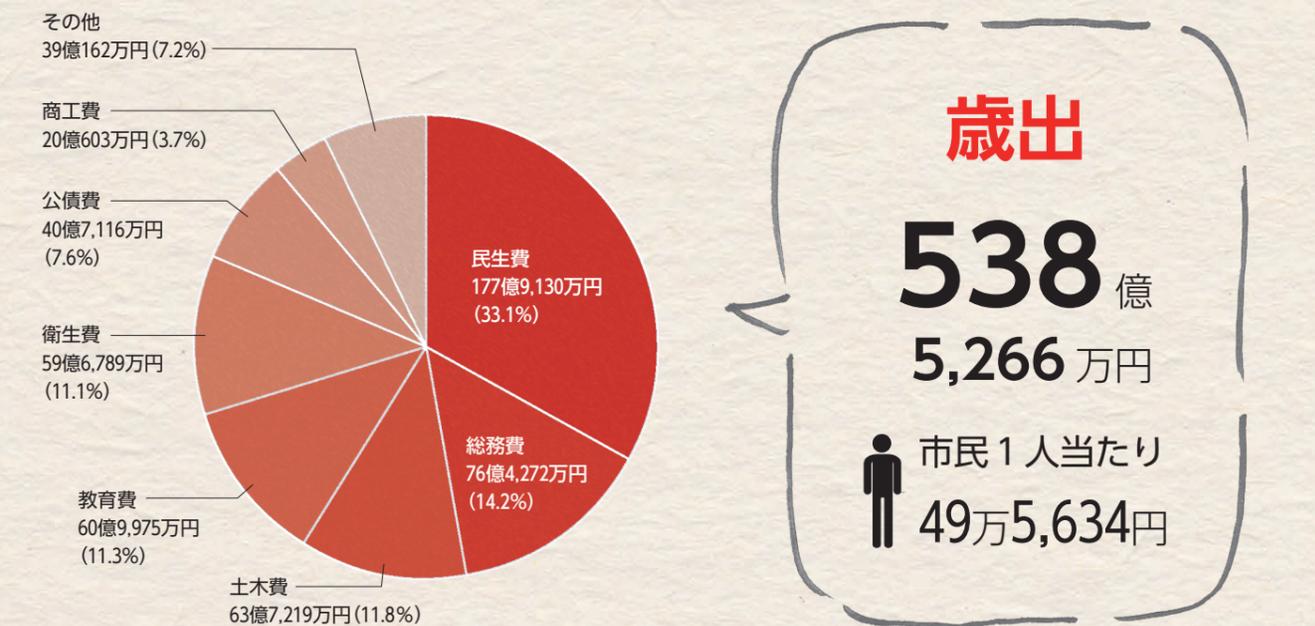
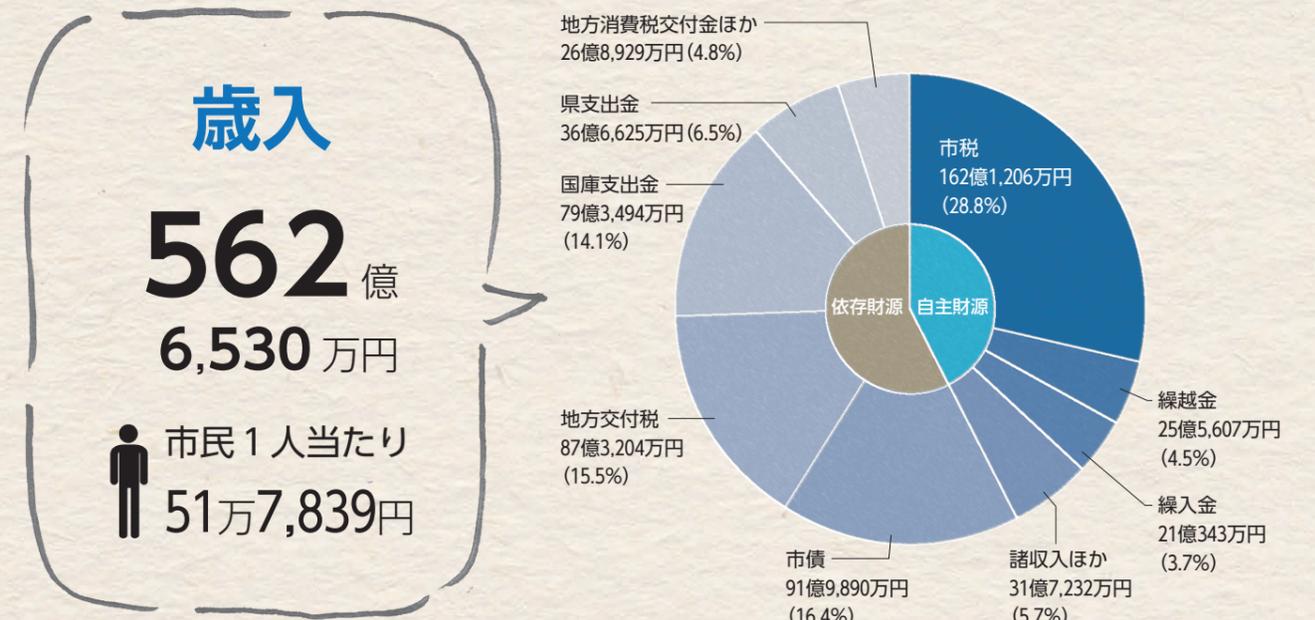
医療費・教育費 (扶助費) が約44万円、家の増改築費など (普通建設事業費など) が約77.5万円増加し、**支出総額は約120万円増加**しました。家の増改築費などの増加に伴い、銀行からの借り入れ (市債) が約2.8倍となり、**ローン残高は618.1万円と大幅に膨れあがり**ました。今後は**ローン返済の負担が重くのし掛かります**。一方、預金残高 (基金) の総額は約44万円増加したものの、今後増えることが想定される**医療費・教育費やローン返済 (公債費) を考えると、預金の取り崩しでのやりくりはますます難しくなります**。

今後、健全な家計を維持するために、家の増改築費などは必要なものに厳選し、生活費 (物件費など) を抑えつつ、増え続ける医療費・教育費やローン返済に備える必要があります。

令和元年度 西条市の

決算

令和元年度の決算がまとまりました。
昨年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。
問合せ 市庁舎本館3階 財政課 Tel.0897-52-1314



市民1人のお金の使われ方

住民基本台帳登録数108,654人 (令和2年3月31日現在)



特別会計、企業会計、市の財産・借金などの詳細

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	128億2,997万円	126億6,992万円	1億6,005万円
介護保険	116億7,965万円	113億9,362万円	2億8,603万円
簡易水道事業	1億3,785万円	1億3,785万円	0円
公共下水道事業	40億4,877万円	40億2,018万円	2,859万円
港湾上屋事業	554万円	468万円	86万円
ひうち地域振興整備事業	1億5,729万円	1億5,729万円	0円
土地開発事業	24万円	24万円	0円
小松地域交流事業	3,136万円	3,136万円	0円
本谷温泉事業	5,553万円	5,553万円	0円
畑地かん水事業	1,913万円	611万円	1,302万円
庄内財産区	56万円	52万円	4万円
壬生川財産区	470万円	310万円	160万円
後期高齢者医療保険	15億1,652万円	14億8,584万円	3,068万円
合計	304億8,711万円	299億6,624万円	5億2,087万円

●市の財産

土地	2,946万2,975㎡
建物	54万4,311㎡
基金	139億5,034万円
有価証券	2,424万円
出資金	2億2,439万円
債権	16億890万円

●市の借金（市債現在高）

一般会計	618億1,491万円
特別会計計	210億1,075万円
合計	828億2,566万円
市民1人当たりの借金	76万2,288円

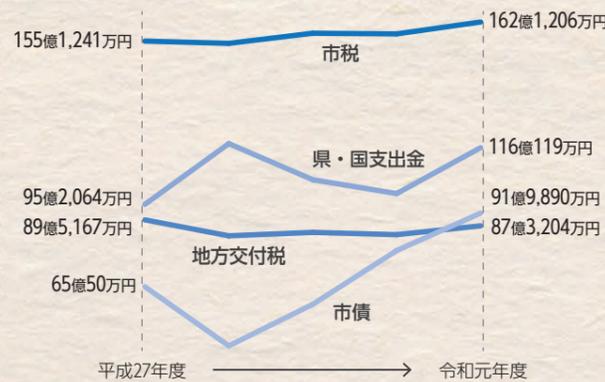
※企業会計を除く

●企業会計の決算状況

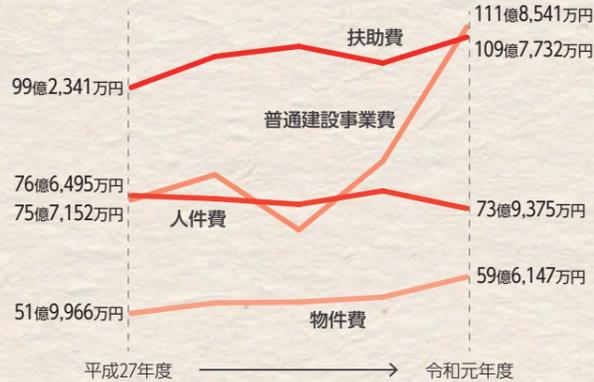
区分	収益	費用	当期純利益・損失	企業債現在高
水道事業会計	8億9,054万円	7億9,675万円	9,379万円	54億667万円
病院事業会計	1億7,703万円	2億897万円	△3,194万円	9億8,047万円

5年間の主な歳出・歳入の推移

歳入



歳出



持続可能な財政 基盤の確立へ

歳出では、ひうちクリーンセンター整備事業（衛生費）や小中学校・幼稚園空調設備整備事業（教育費）などの大型事業による普通建設事業が大幅に増加し、歳出全体で前年度比10・3%増加しました。

一方歳入では、市税や地方交付税、国県支出金、市債などの増加により全体で前年度比9・5%の増加となりました。特に普通建設事業の増加に伴い、市債額は前年度比17・6%と大幅に増加しています。市税はゆるやかに伸びているものの、今後の扶助費などの社会保障経費や老朽化する施設の維持補修費、市債残高の増加による公債費の大幅な増加を見込むと厳しい財政状況となっています。

今後は新型コロナウイルスの影響による減収が想定されることから、今まで以上に高いコスト意識や創意工夫を凝らした事業実施により、次世代に過度な負担を負わせることがない持続可能な財政基盤の確立が必要となります。

令和元年度に実施した主な事業

総務費



東京で開催の移住セミナー

- 移住促進事業 2,234万円
セミナーの開催、移住体験ツアーの実施など
- 地域自治推進事業 934万円
地域自治組織の設立などのサポート体制の充実など

民生費



見守りロボット PaPeRo 1 による見守り支援

- コミュニケーション・ロボットを活用したゆるやかな高齢者見守り支援事業（介護保険特別会計） 201万円
- 認定子ども園整備事業 2億3,526万円

衛生費



ひうちクリーンセンター

- ひうちクリーンセンター整備事業 31億9,911万円
ひうちクリーンセンターの更新整備
- 地下水保全事業 249万円
地下水モニタリング調査、地下水保全協議会等の開催

教育費



エアコンが整備された教室

- 小中学校・幼稚園空調設備整備事業 15億6,041万円
小学校・中学校・幼稚園へ空調設備を整備
- 西条西中学校屋内運動場等整備事業 4億6,074万円
屋内運動場の建て替え

消防費



西消防署河北出張所

- 西消防署河北出張所整備事業 8,778万円
東予地域北部における救急隊施設を整備
- 地域・企業等連携防災力強化事業 290万円
地域や市内企業などと連携した地域防災訓練の実施

商工費



フォレストアドベンチャー・西条

- 四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業 1億3,637万円
地域観光サービス産業の拡充
- アウトドアオアシス石鎧管理運営事業 5,455万円
アウトドア活動拠点施設としてリニューアルオープン